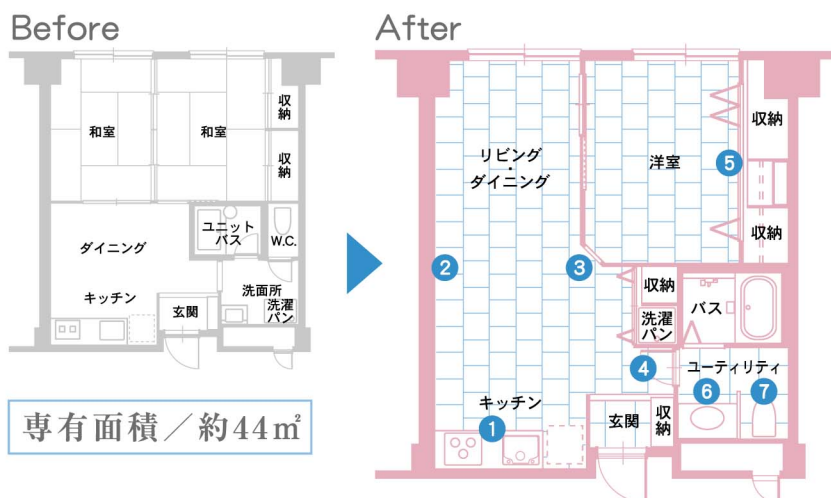


※今回は、「節電の工夫」編をお届けします。

築30年のマンションを最新設備とオーナーのアイデアで、現代風にリフォーム。賃貸転用時の参考になる施工例です。

今回ご紹介するのは、都心の好立地にある築30年のマンション。オーナーは、長い間事務所として使用していましたが、リフォームして賃貸住宅に転用することに。現代の都心生活者のニーズに合わせて、最新設備を導入すると共に、オーナーの様々なこだわりを実現しています。リフォーム完成後には、入居者もすぐに決まったそうです。賃貸マンションの空室対策の参考にしたいリフォーム例です。

専有面積 / 約44m²

キッチン

お客様の目にもとまりやすいオープン型のキッチンは、機能だけではなく、デザイン性にも優れた最新式のシステムキッチンにリフレッシュ。IHクッキングヒーターを採用することで清掃性と安全性も高めました。



収納

元々押し入れのあった空間は、天井近くまである機能的な収納スペースに。ハンガーパイプや可動棚を設けることで、収納アイテムを整理しやすくしています。



リビング・ダイニング

この住まいで、最もオーナーのこだわりが覗かれるのが、リビングの壁クロス。銀杏の柄と黄色のカラーが、訪れる方にインパクトを与え印象的な空間を演出します。床は、フローリングに比べ水や汚れに強く、またコスト的にも抑えられる新素材を採用しています。



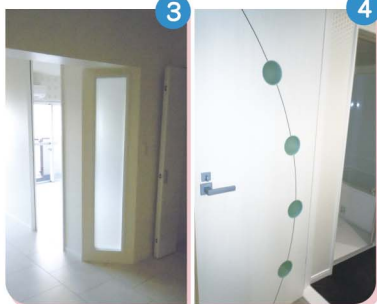
洗面

洗面所とトイレは、一体の空間として使えるユーティリティとして再設計。ゆったりとした優雅な空間に生まれ変わりました。洗面化粧台もボウル一体型で洗練されたデザインのもの采用了。



明かり取り窓・ユーティリティのドア

住まいに個性と彩りを与えているのが、明かり取りの窓やユーティリティのドア。これもオーナーのこだわりのひとつ。スリガラスを使っているので視界を遮りながら、同居者が別の場所においても気配を感じることができます。



トイレ

独立した空間からユーティリティになり、お客様の目に付きやすくなったトイレは、デザイン性の優れたタンクレストイレを採用しました。手の届きにくかったトイレの奥も掃除がしやすくなります。また、節水タイプにすることで、環境にも配慮。水道代も大幅に節約できます。

